

平成31年度 事業報告書

(事業年度 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日)



香 蘭

学校法人 山内学園

祈りつゝ育てしまこと

あらわれて

気高く香る初咲きの蘭

昭和三十五年短大一期生卒業式一首

初代学長 山内良子先生著

目 次

1. 法 人 の 概 要	1
2. 学 園 沿 革	3
3. 法 人 組 織 図	4
4. 役 員 ・ 評 議 員	5
5. 学 生 ・ 職 員 現 員	6
6. 事 業 の 概 要	7
7. 主 な 事 業 内 容	10
8. 地 域 貢 献 活 動 報 告	13
9. 進 路 状 況	15
10. 決 算 の 概 要	16
11. 資 金 収 支 計 算 書	18
12. 活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書	19
13. 事 業 活 動 収 支 計 算 書	20
14. 貸 借 対 照 表	21
15. 財 産 目 録	22
16. 監 査 報 告 書	23
17. 財 務 比 率 表	24

法人の概要



法人名: 学校法人 山内学園 (昭和23年2月 法人設置認可)

理事長: 坂 根 康 秀

所在地: 〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>

設置学校



香蘭女子短期大学

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

学長 坂 根 康 秀

設置学科: ファッション総合学科・食物栄養学科・保育学科・ライフプランニング総合学科
(テクニカル専攻科 1年課程)

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>



香蘭ファッションデザイン専門学校

〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目10番5号

校長 深 田 勝 久

設置学科: ファッションデザイン専攻科(3年課程)・ファッションデザイン科(2年課程)
ファッションテクニカル科(2年課程)・ファッションビジネス科(2年課程)

電 話: (092)751-1331 FAX: (092)741-0688

H P: <http://koran.jp/>



香蘭女子短期大学附属 香蘭幼稚園

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目12番35号

園長 坂 根 康 秀

定員: 300名 3年保育 2歳児・満3歳児保育 預り保育あり

電 話: (092)571-3441 FAX: (092)513-1813

H P: <http://kourankid.com/>



幼保連携型認定こども園(平成30年4月より移行)
香蘭女子短期大学附属 那珂川第一幼稚園

〒811-1251 那珂川市松木5丁目1番1号

園長 柳 幸 子

定員: 225名 幼稚園部(1号)・保育園部(2号・3号)

電 話: (092)953-1135 FAX: (092)953-3848

H P: <http://www.nakagawadai1.com>



香蘭女子短期大学附属 那珂川第二幼稚園

〒811-1252 那珂川市五郎丸3丁目17番1号

園長 峯 田 功 子

定員: 240名 3年保育 預かり保育あり

電 話: (092)953-0222 FAX: (092)953-0222

H P: <http://www.nakagawadai2.com>

(姉妹法人設置保育園)



社会福祉法人 香蘭育成会 しおばる保育園

〒815-0032 福岡市南区塩原3丁目26番19号

理事長 坂 根 康 秀

園 長 長谷川 明 美

定員 120名

電 話: (092)554-1188 FAX: (092)554-1288

H P: <http://www.shiobaruhoikuen.com>

建学の精神

「いかなる困難な場合にあっても、創意・工夫を大切に、
人を愛し、人から愛される自主した女性の育成」

学園沿革

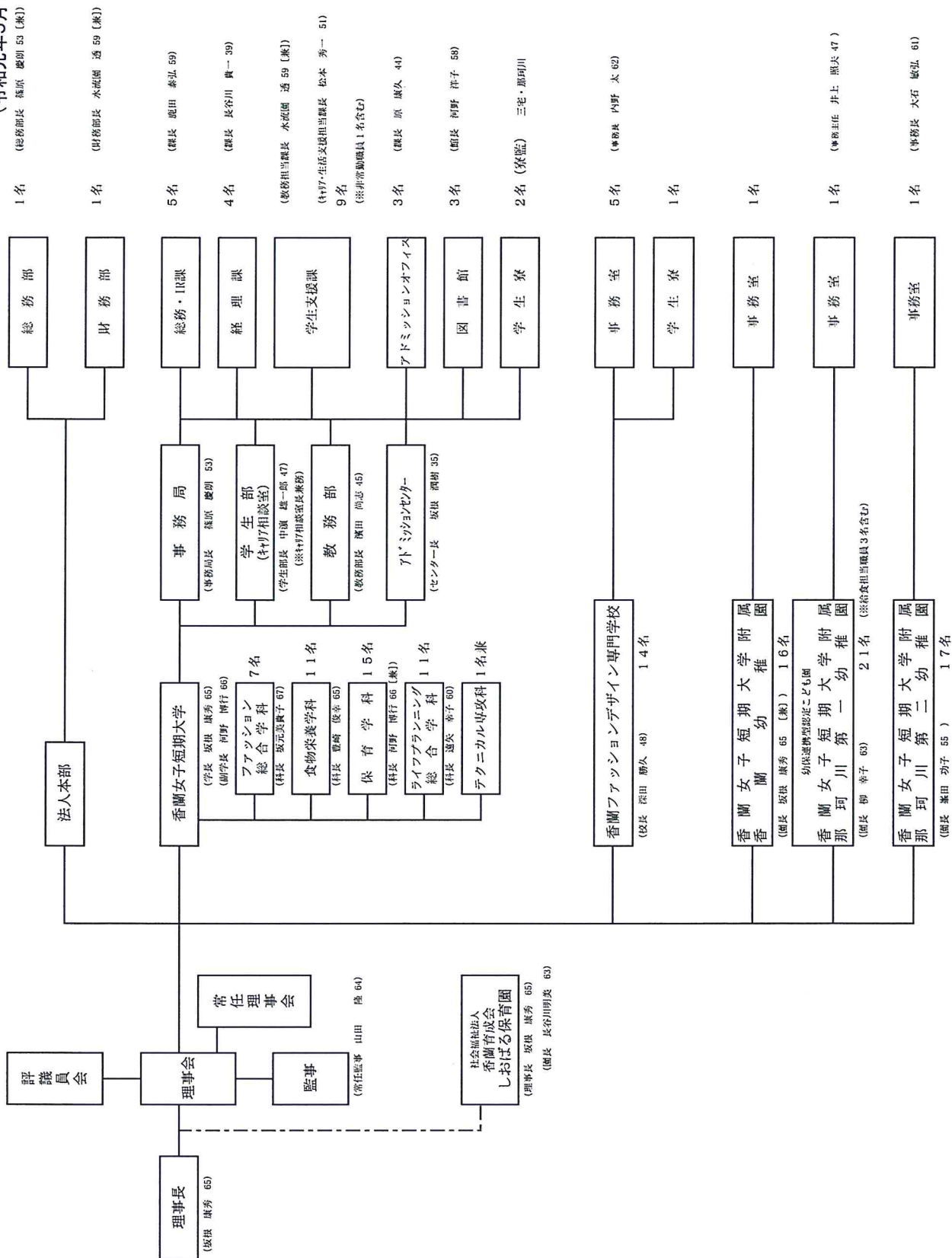
- 昭和 10年 5月 レディース香蘭女学院開学
 21年 9月 香蘭女学院設立認可(個人立)
 26年 3月 財団法人レディース香蘭女学院から準学校法人香蘭女学園へ組織変更
 33年 1月 学校法人山内学園へ組織変更認可、香蘭女子短期大学被服科設置認可
 36年 8月 創設者 山内良子逝去
 38年 4月 短期大学に家政科増設(井尻校舎)
 40年 4月 短期大学に保育科増設(井尻校舎)、被服科二部増設(大手門校舎)
 42年 4月 短期大学附属幼稚園(現香蘭幼稚園)開園
 47年 4月 被服科を井尻校舎へ移転し、短期大学を同一校地へまとめる
 50年10月 被服科2部廃止、法人本部を中央区大手門から南区横手へ移転
 51年 9月 香蘭女学院を専修学校に組織変更し、専門学校香蘭女学院に名称変更
 58年 4月 短期大学に秘書科増設
 62年 4月 短期大学に国際教養科増設
 63年12月 学啓徳学園を吸収合併認可、香蘭女子短期大学附属那珂川第一幼稚園に名称変更
- 平成 元年 4月 香蘭女学院を香蘭ファッションデザイン専門学校に名称変更
 10年 8月 専門学校の高等課程を廃止
 11年 4月 香蘭女子短期大学附属那珂川第二幼稚園設置
 15年 4月 家政科家政専攻、秘書科、国際教養科を改組転換し、ライフプランニング総合学科を設置
 " 被服科を被服学科へ、保育科を保育学科へ名称変更
 " 短期大学の家政科専攻分離を廃止し、家政科を食物栄養学科に名称変更
 16年 3月 秘書科、国際教養科廃止
 17年 4月 那珂川第一幼稚園 園舎移転(王塚台から松木)
 18年 4月 附属幼稚園園舎を新築移転し、附属香蘭幼稚園に名称変更
 20年 4月 短期大学の被服学科をファッション総合学科へ名称変更
 21年 4月 専門学校のスタイリスト科を廃止、ファッションデザイン専攻科、ファッションデザイン科、ファッションテクニカル科、ファッションビジネス科へそれぞれ名称変更
 22年 4月 短期大学にテクニカル専攻科(1年)を設置
 26年 4月 専門学校が職業実践専門課程の文科省認定を受ける
 30年 4月 那珂川第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行

歴代理事長

初代	山内良子	昭和33年 1月 ~ 昭和36年 8月
第二代	家永豊太	昭和36年11月 ~ 昭和38年 8月
第三代	坂根嘉子	昭和38年 9月 ~ 昭和53年 3月
第四代	坂根 潔	昭和53年 4月 ~ 平成 6年 3月
第五代	山内昭人	平成 6年 4月 ~ 平成20年 3月
第六代	坂根康秀	平成20年 4月 ~ 現在

法人の組織機構図

(総務部長 篠原 慶朗 53 [兼])



区 分	常勤 非常勤	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	選任条項
理事長	常勤	坂 根 康 秀	平成6年4月1日	H30.4.1~34.3.31	一 学長
理 事 (定数7)	常勤 副理事長	坂 根 潤 樹	平成30年4月1日		二 評議員会互選
	常勤	水流園 透	平成30年4月1日		三 法人職員・財務部長
	常勤	篠 原 慶 朗	平成30年4月1日		三 法人職員・総務部長
	非常勤	海江田 令 次	平成22年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成26年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	安 田 聡 剛	平成30年4月1日		四 功労者・学識経験者
監 事	常勤	山 田 隆	平成30年4月1日	H30.4.1~34.3.31	理事長選任
(定数2)	非常勤	武 部 道 孝	平成18年4月1日		理事長選任
評議員 (定数17)	常勤	坂 根 康 秀	平成2年4月1日	H30.4.1~32.3.31	一 香蘭女子短期大学長
	常勤	深 田 勝 久	平成22年4月1日		二 香蘭ファッション校長
	常勤	峯 田 功 子	平成24年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	坂 根 潤 樹	平成26年4月1日		四 後継者
	非常勤	牛 島 茂 美	平成24年4月1日		五 卒業生
	非常勤	的 野 秀 子	平成22年4月1日		五 卒業生
	非常勤	中 富 美穂子	平成14年4月1日		五 卒業生
	常勤	豊 崎 俊 幸	平成28年4月1日		六 法人職員
	常勤	内 野 太	平成30年4月1日		六 法人職員
	常勤	溝 口 希弥子	平成17年4月1日		六 法人職員
	非常勤	小 竹 誠 次	平成18年4月1日		七 功労者・学識経験者
	常勤	河 野 博 行	平成29年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 山 久 子	平成26年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	岩 子 律 二	平成26年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成24年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	秋 峯 良 二	平成28年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 永 哲 二	平成30年4月1日		七 功労者・学識経験者

学生・園児数現員

① 学生生徒現員 ※専攻科学生数は外数、留学生は内数（5月1日現在基本調査より）

学 校 名 ・ 学 科 課 程 名			平成30年度		令和元年度		前年度増減	
			入学者	在籍数	入学者	在籍数	入学者	在籍数
短期大学	F A 総合学科	80	63	124	84	151	21	27
	食物栄養学科	80	71	128	57	124	△ 14	△ 4
	保 育 学 科	150	143	292	148	294	5	2
	L P 総合学科	150	129	275	154	288	25	13
	合 計	460	406	819	443	857	37	38
	テクニカル専攻科 留学生生（短期営 む）	15	5	5	8	5	3	0
専 門 学	合 計	160	133	281	111	248	△ 22	△ 33
	（男 子）		30	52	24	52	△ 6	0
	[留学生]		1	2	3	3	2	1
香 蘭 幼稚園	満 3 歳 児 未 満		3	3	9	9	6	6
	3 歳 児	100	77	98	63	100	△ 14	2
	4 歳 児	100	10	106	5	103	△ 5	△ 3
	5 歳 児	100	3	99	1	101	△ 2	2
	合 計	300	93	306	78	313	△ 15	7
第 一 幼稚園 (認定こども園)	1 号	3歳児未満	15	11	11	13	2	2
		3 歳 児	45	29	43	30	1	△ 1
		4 歳 児	45	3	46	2	△ 1	△ 3
		5 歳 児	45	0	54	0	0	△ 8
	2 号	3 歳 児	15	12	12	1	△ 11	3
		4 歳 児	15	14	14	1	△ 13	0
		5 歳 児	15	10	10	1	△ 9	5
	3 号	0 歳 児	6	6	6	4	△ 2	△ 2
		1 歳 児	9	9	9	5	△ 4	2
		2 歳 児	15	12	12	9	△ 3	3
	合 計		225	106	217	66	△ 40	1
第 二 幼稚園	3 歳 児	60	87	87	85	85	△ 2	△ 2
	4 歳 児	90	12	88	13	93	1	5
	5 歳 児	90	1	78	2	88	1	10
	合 計	240	100	253	100	266	0	13
総 合 計		1,385	838	1,876	798	1,902	△ 40	26

②専任教職員数

所 属	平成30年度			令和元年度			増減	備考
	教員数	職員数	合 計	教員数	職員数	合計		
短 期 大 学	48	26	74	44	25	69	△ 5	学生寮含む
専 門 学 校	15	4	19	15	5	20	1	寮含む
香 蘭 幼 稚 園	15	1	16	16	1	17	1	園長除く
第 一 幼 稚 園	21	4	25	18	4	22	△ 3	
第 二 幼 稚 園	16	1	17	17	1	18	1	
総 合 計	115	36	151	110	36	146	△ 5	

③しおばる保育園

区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	園児合計	教職員 (内パート)
平成29年度	120	14	20	26	25	24	24	133	32(9)
平成30年度		14	23	23	26	22	24	132	30(10)

31年度 事業の概要

◆短期大学

事業項目		事業の概要
1	私立大学等経常費補助「特別補助」増額のための各種事業応募	改革総合支援事業「タイプ1:特色ある教育の展開」「タイプ3:プラットフォーム型」の2事業を申請。結果、「タイプ1:特色ある教育の展開」は不採択、「タイプ3:プラットフォーム型」は採択となった。
2	認証評価(短期大学基準協会)	令和元年10月15・16日に訪問調査が行われた。一般財団法人大学・短期大学基準協会より令和2年3月17日付で適格認定を受けた。
3	海外研修の継続実施	食栄・保育のハワイ研修(9月)は最小催行人数に到達しなかったため中止。LP総合の台湾研修(11月)、FA総合のイタリア研修(12月)は予定どおり実施された。
4	「短期大学コンソーシアム九州」共同事業の継続	学生アンケートは継続実施。短大フェス、高校訪問キャラバン隊の実施は見送られた。補助金終了後(H28年度)、いくつかの事業は継続されていたが、令和2年度に事業の抜本的な見直しが行われる予定。
5	経営改善計画の継続と見直し	経営改善計画を見直し、目標の再設定。8月の学園教職員研修会で例年通り実施し、意識を共有した。
6	短大フォーラムの実施	令和元年9月6・7日に本学主幹(本学が会場)となり、「ミライ」というテーマで実施。参加者数約200名、参加短大20校。
7	食物栄養学科と雪印メグミルクとの連携事業の継続	H28年度の協定締結した雪印メグミルクとの事業継続。学内で学生を対象(教職員も参加可)としたチーズ講習会や学生が考案した学生食堂のメニュー提供などを行った。この事業は、令和元年度をもって終了となった。
8	地域連携センターの活動継続・推進	地域との連携・貢献活動として南区こども大学・南区出前講座大学版を合計20講座実施。
9	教育改革実行計画の募集継続	学長裁量予算100万円。本学学生への教育改革(4領域)に対し経費を支出。H31年度は3件の申請があり、中濱教授申請分(「KoranIぜんき組」を中核としたALの促進)、濱田教授他3名申請分(「カリキュラムマネジメントの研究」)の2件を採択。
10	「アクティブ香蘭」の募集継続	学生の積極的な活動を応援するため、その活動に必要な資金を援助する制度の継続。H31年度は3件(FA学科1件、食栄学科2件)が採択された。
11	プラットフォーム事業の継続	「H30年度私立大学等改革総合支援事業タイプ5(発展型)」にて採択された「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム」の継続実施。
12	授業評価・教職員評価顕彰制度の継続	学生の授業評価・教職員の評価等で教職員を顕彰する事業の継続実施。
13	公開授業の継続	専任・非常勤教員の授業公開の義務付けし、専任職員の授業参観を継続実施。
14	インターンシップの継続	大きく春季、夏季、後期に分け説明会を行い、学生の希望企業(分野)とのマッチングを行い実施している。受け入れ先も徐々に拡大していたが、コロナウイルスの影響により春季のインターンシップが実施できなかった。
15	留学生の計画的受け入れ	平成31年度は多くの留学生の入学があったが、令和2年度については学科ごとの入学者数を定め、計画的な受け入れ(入学者選抜)を行った。
16	高大連携事業の継続	博多工業高等学校、香椎高等学校との高大連携事業の継続実施。
17	大連工業大学(中華人民共和国)との教育提携事業	平成31年3月に教育連携協定締結。令和元年9月に大連での「国際服装紡績品博覧会」に出展。ファッションコンテスト大連杯では学生2名が優秀賞を受賞。受賞作品はファッションショーで紹介された。坂元学科長のシンポジウム講演、大連工業大学服装学院との交流(授業参加、プレゼンテーション)を実施した。参加学生10名。

31年度 事業の概要

事業項目		事業の概要
18	3号館空調設備改修工事	3号館1Fボイラー撤去、冷房専用機器の冷暖房用機器への取替え、老朽化した機器の取替え、ファンコイルの撤去を令和元年12月から令和2年2月にかけて実施。
19	3号館トイレ改修工事	当初は令和2(2020)年度に基本金取得予定の事業であったが、1年前倒し(平成31年度)で実施。女子トイレのスペースを拡充し、身だしなみスペースを設置。全てウォシュレット付きの便座への取り替えを令和2年1月から3月にかけて行った。
20	8号館エレベータの改修(取替え)	この事業については基本金の組み入れを行っていなかったが、竣工(昭和62年)からの経年劣化、部品がなくなる事態に対処するため、令和元年8月から9月(夏季休暇中)に実施。
21	正門側ブロック塀撤去、フェンス設置	正門側ブロック塀が老朽化したため撤去し、地震時、倒壊のリスクが低いフェンスを新設。令和2年3月に工事を実施。

◆専門学校

事業項目		事業の概要
1	事務局に新システム導入	入学・在籍・卒業生個人情報データベース化及び在学生管理、高校生(資料請求者)のデータベース化等の、info clipper運用開始。
2	本館改修工事を予定	本館玄関柱が経年劣化のため、改修工事を実施。
3	文科省委託事業 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」への参加(3ヶ年事業)・継続事業	専修学校による地域産業中核的人材養成事業、Society5.0等対応カリキュラムの開発・実証。ファッションビジネス科において文化服装学院との遠隔授業、Net回線上でオムニバス形式の授業を実施した。
4	夏季クリエイション・ショーの開催	7月6日の体験入学・学校説明会に合わせて、ファッションデザイン専攻科3年生が各種コンテストを見据えたクリエイション作品をショー形式で学内で発表(「KORAN COLLECTION」)。
5	卒業記念展・進級作品展の開催	2/22・23に福岡ファッションビルにて卒業記念展、3/14の進級作品展はコロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、上位作品を専門学校ロビーに展示。
6	キャリアガイダンスの実施(アパレル企業説明会の開催)	学生の就職意識向上の一環として、合同企業説明会開催を毎年4月に開催。42社が参加。年間を通して定期的に就職セミナーを実施。福岡県若者サポートしごとセンター主催(業界研究バスツアー)実施。
7	海外研修の実施(グローバル人材育成)	専門学校提携校であるイタリアIEDで海外研修を12月に実施予定であったが、募集定員に満たさず、不履行となった。
8	ファッションマンスほか各種ショーへの参加	地場の行政や、その他企業からのイベントの誘致にフレキシブルに対応また地域貢献のためファッションショーの参加・衣装提供、フィッター、展示等を行った。参加イベントは、広川絋祭り、手づくりフェアin九州、エコ・ファッションショー、アジアデザイナーズショー等。
9	全国規模:各種コンテストエントリー	国内ファッションコンテスト【YKKファスティングアワード、日暮里コレクション、JFW JAPAN CREATION FORM PRESENTATION、技能五輪】などへ参加し入選・入賞を果たした。アジアデザイナーズショーでは、上位3名が選出された。しかし、新型コロナウイルスの影響で、ショー自体延期となった。
10	ファッション業界著名人の招致、トレンドセミナー実施	業界人をゲストに迎えた講演会等を実施。実例として、衣服標本家の長谷川彰良によるワークショップを開催。文化祭では、ニットデザイナーの東佳苗氏のトークショー。夏期講習会では、ファッションイラストレーターの岡本氏、大阪の縫製会社、ファイブワンファクトリーのセミナーを実施。下級生には、進級作品のテーラード製作前に、株式会社社尾上繊維のワールドセミナーを実施。また、WWD編集長:向氏のファッション業界トレンドセミナーを実施。装苑編集長:児島氏のセミナーを実施。

31年度 事業の概要

◆附属幼稚園

事業項目		事業の概要
1	3歳児から5歳児の保育料無償化	令和元年10月より実施。保育料25,700円まで、預り保育11,300円までで、月額上限は37,000円となる。
2	処遇改善手当の支給	月額8,000円～12,000円の処遇改善手当を教諭、保育教諭に支給。
3	各種研修会への参加	しおばる保育園を含めた4園合同研修会の実施等。
4	任意参加の園児向け各種教室の実施	スポーツ(体操、水泳)、英会話教室等の園児向けのプログラムを継続実施。
5	香蘭幼稚園 遊戯室空調新設工事	令和2年3月に遊戯室に空調(冷暖房)機器を新設。
6	那珂川第二幼稚園 改修工事	那珂川第二幼稚園の遊戯室外壁補修および園庭通路ルーフ設置工事を夏季休暇期間中(8月)に実施。
7	那珂川第二幼稚園 バス購入	那珂川第二幼稚園の園児送迎バスを2019年4月に購入。

◆法人本部

事業項目		事業の概要
1	教職員間の「ハラスメント相談窓口」の設置	法人全体の教職員間のハラスメント相談窓口として、内部窓口(法人総務)、外部窓口(法律事務所)を設置。
2	春吉土地の売却	平成30年6月に売買契約を結んだ春吉土地を令和元年11月に予定通りに売却。

★香蘭女子短期大学

① 認証評価受審

令和元年10月15・16日に訪問調査が行われた。一般財団法人大学・短期大学基準協会より令和2年3月17日付で適格認定を受けた。

② 短大フォーラムの実施

令和元年9月6・7日に本学主幹(本学が会場)となり、「ミライ」というテーマで実施。参加者数約200名、参加短大20校。

③ ファッション総合学科卒業制作展の実施

昨年度に引き続き、天神ソリアプラザ1F「ゼファ」において、2月13日～16日の4日間、卒業制作展を開催した。本年度の全体テーマは「オリンピック×ファッション」。学生たちは、単に競技だけではなく、歴史、文化、芸術など様々な側面からオリンピック捉え、調査研究を行った。過去の開催国の特徴的な建築物、オリンピックで使用されるマークやエンブレム、日本文化などからインスピレーションを得て、自分たちの感性でデザインを考え制作。最終日のファッションショーでは、煌びやかな衣装が多くの観客の関心を集めていた。



④ 学園全教職員研修会の開催

例年のように、8月に学園教職員を対象に、学園の財務状況・資産状況・収支の状況・学生教職員数等について資料を基に説明を行い改善計画の見直しを行った。

⑤ 海外研修の継続

ファッション総合学科のイタリア研修(12月)とライフプランニング総合学科の台湾研修(11月)を実施。



⑥ 留学生の計画的受け入れ

令和2年入試については学科ごとの入学者数を定め、計画的な受け入れ(入学者選抜)を行い、38名の留学生が入学した。

⑦ 授業評価・教職員評価顕彰制度の継続

29年度より、専任教員及び非常勤教員のすべての担当科目の全コマにおいて、学生によるペーパーによる授業評価を実施を義務化した。29年度に引き続き30年度も実施。評価の高い授業科目については、担当教員の顕彰を朝礼時に行った。

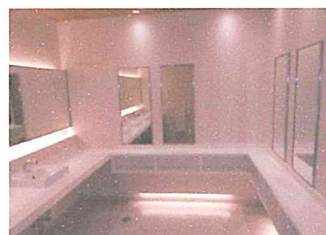
⑧ 大連工業大学服装学院(中華人民共和国)との教育提携事業

平成31年3月に教育連携協定締結。令和元年9月に大連での「国際服装紡績品博覧会」に出展。ファッションコンテスト大連杯では学生2名が優秀賞を受賞。受賞作品はファッションショーで紹介された。坂元学科長のシンポジウム講演、大連工業大学服装学院との交流(授業参加、プレゼンテーション)を実施した。



⑨ 3号館トイレ・空調改修工事

女子トイレのスペースを拡充し、身だしなみスペースを設置。全てウォシュレット付きの便座への取り替えを行った。また、老朽化した空調機器の更新も同時に実施した。



★香蘭ファッションデザイン専門学校

① クリエーションショーの開催

7月6日の体験入学・学校説明会と同時に「KORAN COLLECTION」を開催。ファッションビジネス科のフリーマーケット等も実施され、多くの来場者で賑わった。



② 卒業記念展の開催

2月22日・23日に福岡ファッションビルにおいて「卒業記念展 ～Move ON～」を開催。ファッションショー形式のコンテスト及作品展示を行った。多くの来場者が訪れ大盛況のうちに無事終了した。



③ 各種コンテストの入選・入賞

国内ファッションコンテスト【YKKファスニングアワード、日暮里コレクション、JFW JAPAN CREATION FORM PRESENTATION、神戸ファッションコンテスト、技能五輪】などへ参加し入選・入賞を果たした。アジアデザイナーズショーでは、上位3名が選出された。しかし、新型コロナウイルスの影響で、ショー自体延期となった。

④ 文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」への参加(3カ年事業:継続)

専修学校による地域産業中核的人材養成事業、Society5.0等対応カリキュラムの開発・実証。ファッションビジネス科において文化服装学院との遠隔授業、Net回線上でオムニバス形式の授業を実施した。

⑤ 業界著名人の招致・トレンドセミナーの実施

業界人をゲストに迎えた講演会等を実施。実例として、衣服標本家の長谷川彰良によるワークショップを開催。文化祭では、ニットデザイナーの東佳苗氏のトークショー。夏期講習会では、ファッションイラストレーターの岡本氏、大阪の縫製会社、ファイブワンファクトリーのセミナーを実施。下級生には、進級作品のテーラード製作前に、株式会社尾上繊維のウールセミナーを実施。また、WWD編集長:向氏のファッション業界トレンドセミナーを実施。装苑編集長:児島氏のセミナーを実施。

★附属幼稚園

① 3歳児から5歳児の保育料無償化

令和元年10月より実施。保育料25,700円まで、預り保育11,300円までで、月額上限37,000円の無償化となった。

② 那珂川第二幼稚園 改修工事

那珂川第二幼稚園の遊戯室外壁補修、門扉の改修および園庭通路ルーフ設置工事を夏季休暇期間中(8月)に実施。



★法人

■ 春吉土地の売却

平成30年6月に売買契約を結んだ春吉土地を令和元年11月に予定通りに売却。

平成31年度
地域連携取組状況

	開催日	事業名・テーマ等	主催者(開催場所・地域等)	担当者	
				所属	氏名
南区 こども 大学	7月27日	自分でデコろう布バッグ ～パソコンでデザインしよう～	CAD室・148教室	FA	杉森 孝
	7月28日	わくわくパソコン講座 ～アニメーションの仕組みを理解しよう～	第二マルチメディア教室	LP	田中 健吾
	8月1,2日	こどもの絵本作り教室	863教室	保育	寺井 知香
	8月7日	アップサイクルフラワーを作ろう！ トイレtpペーパーの芯を使って	135教室	LP	河野 洋子
夏 講座 公開	8月8日	高校家庭科授業でできる化学実験-食品中の色素を取り出してみよう-	LP学科(理化学実験室)	食栄	金田 一秀
		2019年春夏のトレンドジャケットをドレーピングで作ってみよう	FA学科(148教室)	FA	坂元 美貴子
食 育	10月13日	「野菜・魚中心の食事」 枝豆ご飯・鰯のチーズ巻焼他	アクティブ香蘭	食1,2年	青木 友紀子 浴中・森山
	10月22日	「好き嫌いをなくす」 きのことコーンのバターライス・根菜ハンバー グ他	381教室		
	11月23日	「骨を丈夫にする食事」 しらすとネギのピザ・カボチャのスープ他	第一調理実習室(3号8F)		
南区 出前 講座 (大学 版)	6月14日	からだところをほぐすストレッチ運動	野間カステリアふれあいサロン	保育	中村 洋子
	6月19日	認知症予防の食事～脳も体もいつまでも若々しく～	ヘルパーステーションミナミ	食栄	陶山 敦子
	7月12日	大人の食育講座～外食・コンビニ食でもバランス良く～	老司校区シニア会「一藤クラブ」	食栄	陶山 敦子
	7月29日	トイレtpペーパーの芯でアップサイクルフラワーを作しましょう	子どもの居場所 やにしすまいる	LP	河野 洋子
	8月1日	トイレtpペーパーの芯でアップサイクルフラワーを作しましょう	弥永小留守家庭こども会	LP	河野 洋子
	8月20日	認知症予防の食事～脳も体もいつまでも若々しく！～	認知症予防カフェたまり場天使の鈴	食栄	陶山 敦子
	9月5日	子育ておしゃべり懇談会～絵本を中心に～	横手公民館	保育	寺井 知香
	9月18日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	筑紫丘公民館	LP	河野 洋子
	9月28日	真空調理って何？	三宅公民館	食栄	竹本 尚未
	10月18日	からだところをほぐすストレッチ運動	弥永西校区ふれあいサロン	保育	中村 洋子
	10月18日	紋切り型であそぼう	ふれあいサロンたんぽぽ	LP	河野 洋子
	10月23日	大人の食育講座～外食・コンビニ食でもバランス良く～	長住団地自治会	食栄	陶山 敦子
	11月22日	紋切り型であそぼう	ふれあいサロンたんぽぽ	LP	河野 洋子
そ の 他 の 出 前 講 座 等	1月8日	からだところをほぐすストレッチ運動	アミカス	保育	中村 洋子
	4/18～	職員の体育指導の方法及び園児の体育指導(全10回 ～R2.2/29)	しおばる保育園	保育	中村 洋子
	5月18日	春のにっこり講演会「子どもは未来 ～地域で子供を育てること～」	宗像市 ユリックス	保育	中村 洋子
	5月23日	「子どもは未来 ～地域で子供を育てること～」	福岡市早良区人権啓発連絡会議	保育	中村 洋子
	6月19日	布で作る簡単コースター2枚、折り紙で作る爪楊枝入れ製作	高木校区男女共同参画事業部	保育	相賀 貴子
	7月5日	横手小学校6年生とファッション総合学科とのジョイント授業「エプロンを作 ろう」	147, 154, 156, 157教室	ファッション総合学科	
	9月3日	おもちゃ作りⅠ ～愛情100% めくもり100%～	那珂川第一幼稚園	保育	相賀 貴子
	10月29日	おもちゃ作りⅡ ～愛情100% めくもり100%～	那珂川第一幼稚園	保育	相賀 貴子
	10月10日	「子どもは未来 ～地域で子供を育てること～」	原小学校 成人教育委員会	保育	中村 洋子
	11月14日	より良い睡眠のとり方	日本ゼオン(株)	保育	中村 洋子
	12月8日	「みんなで描こう！福岡式スポーツ・レクリエーションの未来」	第55回福岡県スポーツ推進委員 研修大会・ 種目づくりワークショップ	保育	中村 洋子
	12月17日	クリスマス会 ～ママ・パパが飾り付け、子どもと一緒にパーティー～	那珂川第一幼稚園	保育	寺井 知香
	1月14日	「心を育む」～絵本を通してから	那珂川第一幼稚園	保育	寺井 知香

公開講座の状況

	開催日	事業名・テーマ等	主催者(開催場所・地域等)	担当者	
				所属	氏名
ボランティア等	H31.4～1年	土曜学級(自閉症児を対象とした療育ボランティア活動)	香蘭女子短期大学 体育館リズム室	保育	濱田 尚志
	H31.4～1年	スペシャルオリンピックス日本・福岡主催「ヤングアスリートプログラム」	香蘭女子短期大学 体育館リズム室	保育	中村 洋子
	6月5日	南区役所 花壇植え替え作業	南区役所総務部	LP	河野 洋子
	6月23日	ラブアースクリーンアップ福岡2019	横手校区環境委員会	LP	河野 洋子
	7月31日	楽しい防災デザインコンテスト「令和の防災ずきん」	主催:博多あんあんリーダー会	FA	杉森 孝
	9月7日	「筑後をテーマにした作品展示」(～9日)	中国大連国際服装紡績品博覧会	FA	岡田 絵梨奈
	R1.9～R2.1	「久留米縞織復活プロジェクト」久留米市役所 クールビズウェアの作成	筑後染織協同組合	FA	岡田 絵梨奈
	R1.10～11	南区役所特設コーナーの提案	福岡市南区 市民サービス向上委員会	LP	河野 洋子
	10月20日	横手校区避難訓練参加と防災食(ネパール・スリランカ カレー)の提供	横手小学校・横手公民館	LP	河野 洋子
	10月29日	エコバッグの製作と香蘭祭での配布	横手校区環境委員会	LP	河野 洋子
	11月9日	高齢者施設イベント(お楽しみ会)	高齢者向け施設「ひいの邸」	保育	阿久根 千賀子
	11月30日	フクオカきのこ大祭 フクオカきのこ大祭実行委員会主催	護国神社	LP	坂根 潤樹
	12月4日	健康ウォーク in 佐賀 QSP(九州西部地域プラットフォーム)主催	佐賀城公園	LP	坂根 潤樹
	12月18日	南区役所 花壇植え替え作業	南区役所総務部	LP	河野 洋子
食療リカレントセミナー	2月12日	南区発祥のスポーツ「バスタボー」大会への参加(練習のみ、大会は延期)	玉川小学校	LP	河野 洋子
	9月18日	食品表示の見方・生かし方	751教室	食栄	金田 一秀
	10月25日	認知症予防の食事 ～脳も体もいつまでも若々しく～	751教室	食栄	陶山 敦子
	11月27日	食事を見直してみませんか? ～一生元気に暮らすための食べ方～	751教室	食栄	宮崎 貴美子
	12月6日	お家で簡単!! クリスマスケーキを作ろう!!	第一調理実習室(3号8F)	食栄	青木 友紀子
	1月28日	給食現場における真空調理の活用	751教室	食栄	竹本 尚未
	2月19日	人類の歴史と感染症～新型コロナウイルスとその脅威～	751教室	食栄	金田 一秀

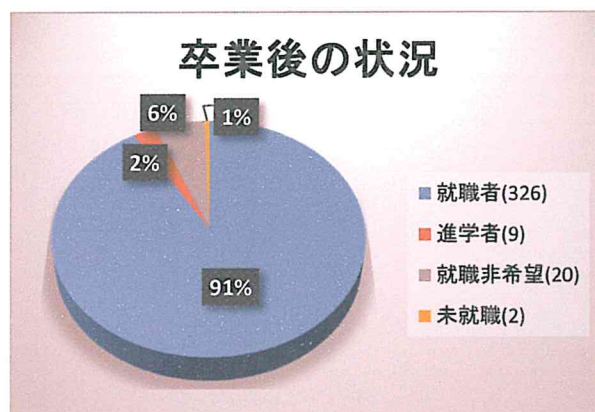
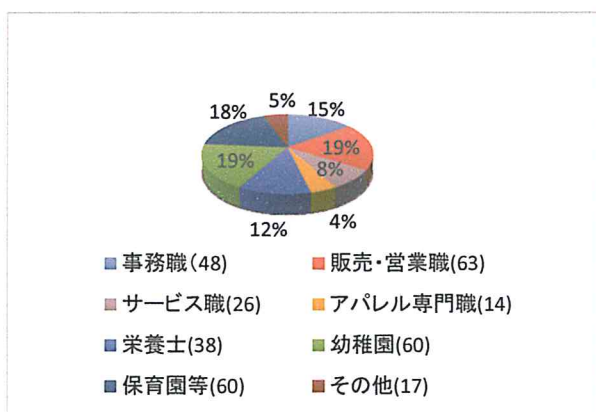
進路状況

短期大学

H31(R元)年度卒業生

R2年5月1日現在

学科	FA総合	食物栄養	保育	LP総合	総計	テクニカル 専攻科
卒業生数 (留学生を除く)	51	62	136	108	357	7
就職希望者数	46	58	126	98	328	7
希望率%	90.2%	93.5%	92.6%	90.7%	91.9%	100.0%
就職決定者数	46	57	126	97	326	7
就職決定率%	100.0%	98.3%	100.0%	99.0%	99.4%	100.0%
進学者数	5	3	1	0	9	0
就職非希望者	0	1	9	10	20	0



専門学校

H31(R元)年度卒業生

R2年5月1日現在

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス	総計
卒業生数 (留学生を除く)	26	17	27	27	97
就職希望者数	21	16	19	26	82
希望率%	80.8%	94.1%	70.4%	96.3%	84.5%
就職決定者数	19	16	19	26	80
就職決定率%	90.5%	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%
進学者数	3	0	4	0	7
就職非希望者	2	1	4	1	8

■就職者の職種別割合

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス
デザイナー・企画 職・生産管理職	58%	44%	16%	—
縫製職 パタンナー、CADオペ レーター等	32%	12%	68%	—
販売職 ファッションアドバイ ザー等	5%	44%	11%	92%
営業職 アパレルメーカー・営 業・企画等	5%	—	5%	—
その他 モデル、事務職等	—	—	—	8%

1. 資金収支計算書について

「資金収支計算書」は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払資金（現預金）のてん末を明らかにしたものです。お金の流れをすべて表した計算書となっていますので、授業料等の前受金収入、その他の収入などが含まれ、支出では、資産運用支出、その他の支出などが含まれます。

平成 31 年度の資金収支の収入合計額は 50 億 1,625 万円で、前年度繰越支払い資金の 23 億 3040 万円と合計した、収入の部は 73 億 4,666 万円となりました。

収入の部の内訳では学生生徒納付金収入が 13 億 961 万円、手数料収入が 1,532 万円、補助金収入が 3 億 7,024 万円、資産売却収入が 15 億 9,480 万円、付随事業・収益事業収入が 6,212 万円、受取利息・配当金収入が 5,100 万円、雑収入が 2,554 万円、前受金収入が 3 億 7,958 万円、その他の収入が 18 億 1,446 万円でした。平成 31 年度の収入で、特別なものとしては、資産売却収入の内、土地の売却収入が 10 億 5,100 万円、有価証券の売却が 5 億 4,212 円となっております。また、その他の収入の内、1 億 7,500 万円は第 2 号基本金引当特定資産取崩収入となっております。

当年度の支出合計額は 43 億 9,483 万円で、翌年度繰越支払資金 29 億 5,182 万円を合計した、支出の部は 73 億 4,666 万円となりました。

支出の部の内訳では、人件費支出が 10 億 7,996 万円、教育研究経費支出が 3 億 7,130 万円、管理経費支出が 1 億 9,250 万円、施設関係支出が 1 億 7,340 万円、設備関係支出が 4,230 万円、資産運用支出が 9 億 5,463 万円、その他の支出が 16 億 2,030 万円でした。平成 31 年度の支出で、特別なものとしては、第 2 号基本金計画対象施設設備投資として、設備関係支出が 1 億 5,218 万円含まれています。

2. 活動区分資金収支計算書について

資金収支計算書を補うものとして、「教育活動による資金収支」、「施設整備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の 3 つに区分して計算したものが「活動区分資金収支計算書」となります。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「教育活動による資金収支」では、本業である教育活動の収支状況を把握することができ、1 億 9,159 万円の収入超過となっております。次に「施設整備等活動による資金収支」では、施設・設備関係の収支を把握することができ、4 億 2,173 万円の収入超過となっております。最後に、「その他の活動による資金収支」では、有価証券売却収入や購入支出、特定資産からの取崩収入や繰入支出、税金等預り金などの収入や支出を把握することができます。その他の活動資金収支差額は、1 億 9,969 万円の収入超過となっており、支払資金の増減額は、6 億 2,142 万円の減少となりました。

3. 事業活動収支計算書について

「事業活動収支計算書」では、当該年度の事業活動を表すもので、収支を経常的なものと臨時的なものに分け、さらに経常的な収支を教育活動と教育外活動に、臨時的な収支は特別収支として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動収入及び支出の状況を把握できるようにしています。これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

平成 31 年度事業活動収支における事業活動収入計は 19 億 985 万円、事業活動支出計は 20 億 165 万円となりました。また、事業活動収入計と事業活動支出計の差額は 9,179 万円の支出超過で、基本金組入額は 4 億 6,385 万円を計上しました。

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業である教育活動の収支を見ることができ、収支差額は 1 億 5,065 万円の支出超過となりました。

次に教育活動外収支では、経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、その収支差額は 5,100 万円の収入超過となりました。

経常収支差額では、経常的な収支バランスを見ることができますが、9,965 万円の支出超過となりました。

特別収支差額では、資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、785 万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額では、当該年度の収支バランスを見ることができますが、結果として 9,179 万円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、4 億 6,385 万円の計上となりました。この主な要因は、学校法人を維持するために必要な資産として、施設の改修・資産の購入に充てた取得価格となる、第 1 号基本金の組入れ 1 億 4,885 万円、将来に備えた改修工事等に係る第 2 号基本金への組入れを 3 億 1,500 万円を行ったことによります。

当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除したもので、5 億 5,565 万円の支出超過となりました。

4. 貸借対照表について

「貸借対照表」は、学校法人としての財政状態を明らかにするもので、令和 2 年 3 月 31 日時点における資産、負債、純資産の内容および残高を表しています。

「有形固定資産」の減少の要因となったのは、減価償却額及び土地売却によるものです。「特定資産」の増加については、第 2 号基本金及び施設更新に対する引当特定資産の組入が主な要因です。「その他の固定資産」の減少については、有価証券を特定資産に繰入たことが要因です。

「資産の部」合計は本年 182 億 6,143 万円となり、前年度と比較して 2 億 9,915 万円増加しています。また、「負債の部」合計は 9 億 5,145 万円となり、前年度と比較して 2 億 736 万円増加しています。その結果、基本金と繰越収支差額を合算した「純資産の部」合計は、173 億 997 万円となり、前年度と比較して 9,179 万円減少しました。資産総額に含める純資産の割合は、94.8%となり、前年度の 93.8%から 1 ポイント低くなりました。

資金収支計算書

平成31年 4月 1日 から
令和 2年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,308,800,000	1,309,615,131	△ 815,131
手数料収入	14,770,000	15,322,670	△ 552,670
寄付金収入	7,980,000	7,822,539	157,461
補助金収入	354,600,000	370,240,001	△ 15,640,001
国庫補助金収入	100,000,000	101,805,000	△ 1,805,000
地方公共団体補助金収入	99,600,000	112,074,937	△ 12,474,937
施設型給付費収入	155,000,000	156,360,064	△ 1,360,064
資産売却収入	1,400,000,000	1,594,800,336	△ 194,800,336
付随事業・収益事業収入	55,500,000	62,121,844	△ 6,621,844
受取利息・配当金収入	51,200,000	51,002,607	197,393
雑収入	18,430,000	25,547,555	△ 7,117,555
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	321,000,000	379,589,140	△ 58,589,140
その他の収入	802,000,000	1,814,461,916	△ 1,012,461,916
資金収入調整勘定	△ 388,000,000	△ 614,265,101	226,265,101
前年度繰越支払資金	1,950,000,000	2,330,402,218	
収入の部合計	5,896,280,000	7,346,660,856	△ 1,450,380,856

(単位 円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,075,630,000	1,079,960,636	△ 4,330,636
教育研究経費支出	373,645,000	371,306,746	2,338,254
管理経費支出	215,215,000	192,500,887	22,714,113
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	175,000,000	173,401,831	1,598,169
設備関係支出	37,930,000	42,309,740	△ 4,379,740
資産運用支出	940,000,000	954,636,934	△ 14,636,934
その他の支出	528,000,000	1,620,304,619	△ 1,092,304,619
〔予備費〕	11,950,000		
資金支出調整勘定	△ 37,000,000	△ 39,587,971	2,587,971
翌年度繰越支払資金	2,575,910,000	2,951,827,434	△ 375,917,434
支出の部合計	5,896,280,000	7,346,660,856	△ 1,450,380,856

**活動区分
資金収支計算書**

平成31年 4月 1日 から
令和 2年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目		金額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	1,306,915,131
	手数料収入	15,322,670
	一般寄付金収入	7,822,539
	経常費等補助金収入	369,472,001
	付随事業収入	62,121,844
	雑収入	25,547,555
	教育活動資金収入計	1,789,901,740
	支出	
	人件費支出	1,079,960,636
	教育研究経費支出	371,306,746
	管理経費支出	192,489,507
	教育活動資金支出計	1,643,756,889
施設整備等活動による資金収支	差引	146,144,851
	調整勘定等	45,448,902
	教育活動資金収支差額	191,593,753
	科 目	金額
	収入	
その他の活動による資金収支	施設設備補助金収入	768,000
	施設設備売却収入	1,051,836,285
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	175,000,000
	施設整備等活動資金収入計	1,227,604,285
	支出	
	施設関係支出	173,401,831
	設備関係支出	42,309,740
	施設更新引当特定資産繰入支出	300,000,000
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	490,000,000
	施設整備等活動資金支出計	1,005,711,571
	差引	221,892,714
	調整勘定等	8,244,411
	施設整備等活動資金収支差額	230,137,125
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		421,730,878
その他の活動による資金収支	科 目	金額
	収入	
	有価証券売却収入	542,122,526
	預り金受入収入	363,805,683
	その他の収入	1,119,319,308
	小計	2,025,247,517
	受取利息・配当金収入	51,002,607
	その他の活動資金収入計	2,076,250,124
	支出	
	有価証券購入支出	164,614,294
	預り金支払支出	363,143,713
	その他の支出	1,109,868,047
	小計	1,637,626,054
その他の活動による資金収支	過年度修正支出	11,380
	その他の活動資金支出計	1,637,637,434
	差引	438,612,690
	調整勘定等	△ 238,918,352
	その他の活動資金収支差額	199,694,338
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		621,425,216
前年度繰越支払資金		2,330,402,218
翌年度繰越支払資金		2,951,827,434

事業活動収支計算書

平成31年 4月 1日 から
令和 2年 3月31日 まで

(単位

貸借対照表

令和 2年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減

財産目録

令和 2年 3月31日

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額
一 資産額		
(一) 基本財産		8,190,233,384
1 土地	福岡市南区横手1-59他	2,467,998,449
2 建物	短期大学本館他	4,991,580,390
3 構築物	短期大学外構他	204,280,741
4 その他の有形固定資産	短期大学教科研用機器備品他	504,608,708
5 その他の固定資産	教務システム他	21,765,096
(二) 運用財産		10,070,205,711
1 土地	福岡市南区塩原3-379他	527,587,553
2 学園拡充引当特定資産	学園拡充用資産	3,125,000,000
3 施設更新引当特定資産	既存施設建替資金	1,750,000,000
4 退職給与引当特定資産	退職金引当資金	458,776,977
5 第2号基本金引当特定資産	第一幼稚園園舎改築資金 他	700,000,000
6 第3号基本金引当特定資産	学園奨学金基金	250,000,000
7 長期有価証券	長期投資用債権	152,039,887
8 現金預金	当座支払資金	2,951,827,434
9 その他の資産	退職金財団交付金未収入金 他	154,973,860
資 産 合 計		
二 負債額		951,458,242
1 固定負債		459,201,201
(1) 長期未払金	教務システムリース代 他	424,224
(2) 退職給与引当金	期末要支給額	458,776,977
2 流動負債		492,257,041
(1) 未払金	共済掛金他	39,413,031
(2) 前受金	入学金、入園料他	379,589,140
(3) その他の流動負債	卒業積立金等預り金他	73,254,870
負 債 合 計		951,458,242
正味資産総額 (資産合計－負債合計)		17,309,979,147

監査報告書

監査報告書

令和 2 年 5 月 30 日

学校法人 山内学園

理事長 坂根 康 秀 殿

学校法人 山内学園

監事

武部道寿 

監事

小田 隆 

私たち監事は、私立学校法及び学校法人山内学園寄附行為第 14 条の定めに基づき、平成 31 年度(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで)の本学園の財産の状況及び理事の職務の執行状況を監査いたしました。その結果を次のとおり報告致します。

1. 監査内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要書類等を閲覧し、関係部所において業務及び財産の状況を調査する等の方法で監査し、また、公認会計士(監査法人 北三会計社)と連携し、計算書類について協議しました。

2. 監査結果

- (1) 学校法人の業務は、事業計画及び予算に沿い適切に遂行されており、不正の行為或いは法令及び寄附行為に違反する事実は認められません。
- (2) 資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表(付属内訳表を含む)並びに財産目録は、法令及び寄附行為に従い、本学園の財産及び経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上

財務比率表(5カ年)

【事業活動収支計算書関係比率】

比 率	算式(×100)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	66.47	63.04	63.00	63.57	58.53
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	90.69	85.34	86.50	95.53	82.90
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	28.19	27.56	35.85	27.12	33.40
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	13.81	13.04	12.01	10.39	13.42
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-8.48	-3.64	-10.86	-1.08	-5.37
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-10.09	-5.05	-13.37	-3.00	-8.12
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-1.14	-3.40	-5.16	-0.94	-4.81
学生納付金比率	$\frac{\text{学生納付金}}{\text{経常収入}}$	73.30	73.87	72.83	66.55	70.61
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.44	0.44	0.45	0.39	0.41
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	13.45	14.50	13.08	18.64	19.39
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	12.38	0.39	14.41	14.05	24.29
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	14.04	15.42	14.68	15.45	15.60

【貸借対照表関係比率】

流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	373.35	491.47	472.75	399.24	631.13
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	5.29	5.42	5.50	6.24	5.21
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	431.45	572.18	534.86	505.17	777.64
退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	88.74	85.24	85.42	85.14	82.99
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	5.59	5.73	5.82	6.66	5.50
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.94	99.95	99.94	99.98	99.93
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	37.44	38.96	40.28	44.55	46.31

※平成26年度以前の決算については、平成27年度から適用された改正後の会計基準に基づき、組み替えて表示している。